

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

| | | | | | |
|------|-----|-----|------------|-----|-------|
| 学校番号 | 126 | 学校名 | 仙台市立泉松陵小学校 | 校長名 | 内田 裕子 |
|------|-----|-----|------------|-----|-------|



1 取組のテーマ

『けやき山活動 ～環境問題学習と森林保全活動～』

2 取組の紹介 (第5学年)

(1) 調べ学習

今、日本や世界で起きている環境問題の原因、対策、現状を調べ自分たちにできることは何かについて考えまとめました。環境問題について一人一人が資料をインターネット等で調べました。世界が様々な環境問題を抱えていることを知り、児童が興味を持ったことについてさらに深く調べることにしました。児童が興味を持った問題ごとにグループに分かれ、課題に対する原因や対策法について調べました。

【活動グループ】

- 道・階段グループ (道・階段の補修・整備)
- 遊具グループ (ロープ遊びや木を使った遊び)
- 看板グループ (看板の補修)
- 展望台グループ (展望台の補修・整備)

- 除伐グループ (危ない枝、不要な木の伐採)
- 花壇グループ (花壇を作り、花を植える)
- 鳥の巣箱グループ (巣箱を作り、設置)
- 草刈りグループ (不要な草の除去、整備)

(2) 緑化活動

森林インストラクターの方々と一緒にけやき山 (校庭の南側にある人工林) を散策しながら、各自の課題を見付けました。各グループにインストラクターの方が入ってくださったので、子供たちは自分の作業に取り組むだけでなく、木々の特徴、生き物の習性、植物の特性などを学びながら活動することができました。自分たちが作ったもので下級生が遊んでくれたり、学習に利用してくれたりするのを見るのが5年生の楽しみになっています。また、授業参観ではグループごとに活動のまとめを発表し、保護者にも自然の大切さを伝えることができました。



花壇づくり



看板の補修



伐採

3 取組の成果 (児童生徒の変容)

けやき山での実践を通して、自分たちが住む地球は様々な環境問題を抱えていることを知りました。けやき山という人工林は、手を入れすぎてしまうと生態系が崩れてしまうものの、人間と自然が共存するためには、必要に応じて手入れをしたり、上手に自然の物を利用したりすることも重要だということに気付くことができました。また、活動を通してたくさんの方が関わり、協力することで自然を守っていることを実感することができました。自然と人との関わり方についてより深く考えることができました。